

## 2003 年度 委員会活動成果報告

( 2004年3月1日作成 )

委員会名	プロジェクトマネジメント小委員会	主 査 名：和泉淳弘
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築経済委員会	委員長名：嘉納成男
設 置 期 間	2003年 4月 ~ 2006年 3月	
設 置 目 的 各年度活動計画	日本におけるプロジェクトマネジメント方式及びコンストラクション・マネジメント方式の普及及び調査研究のため。 2003年度：基礎調査、2004年度：調査及び分析、2005年度：研究成果のとりまとめ	
委員構成 (委員名(所属))	和泉淳弘(日本設計)、齋藤隆司(日本郵政公社)、西野加奈子(建築・住宅国際機構)、杉本善二郎(シーティハウスインダストリィ)、吉田敏明(三菱地所設計)、安藤正雄(千葉大学)、金多隆(京都大学)、嘉納成男(早稲田大学)、楠山登喜雄(フタバエンジニアリング)、桑原耕司(希望社)、佐藤隆良(サトーファシリティーズコンサルタンツ)、関谷哲也(竹中工務店)、平野吉信(国土交通省)、古阪秀三(京都大学)、山崎雄介(清水建設)	
設置 WG (WG名：目的)	原論 WG( PM の原理研究 ) 事例収集等 WG( 実施例を収集 ) 各種調達方式 WG( PM の位置付けと調達方式の定義 ) 海外情報 WG( 海外動向の把握 )	
2003年度予算	70,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	隔月1回(年6回)開催, 小委員会開催前に各WGを開催。
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>2003年度は主に、プロジェクトマネジメント方式(以下、「PM方式」という。)についての事例ヒヤリングを実施し、日本におけるPM方式の類型化の基礎調査を実施した。また、PM方式のマネジメントガイドを作成することを目的として、日本型マネジメントの特徴について、プロジェクトプロセスとの関係において、マネジメント業務を分析した。プロジェクトプロセスとマネジメント体系の業務マトリックスの基礎となるデータを各種約款比較から抽出することができた。</p> <p>これらの研究成果については、1月21日開催のPMワークショップにおいて、成果を発表した。</p> <p>また、このPMワークショップでは、国内における最先端のPM方式の実施例について、都市開発、建築プロジェクトなどいくつかのテーマをベースにパネルディスカッションを実施し、PM方式の普及活動を行うことができた。</p> <p>今後、ホームページ等を活用して、研究成果については、公表することしていきたい。</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>本年度は、日本型プロジェクトマネジメント業務を分析し、プロジェクトマネジメントガイドを作成するための基礎調査と位置付けられている。その中で、毎回の事例収集及び分析を行うとともに、プロジェクトマネジメント原論に必要な既存約款の分析を実施し、今後の分析に必要なデータを収集できたことは、十分次年度以降の分析に資する結果と言える。</p>
その他評価すべき事項	PMワークショップの開催